

新渡戸稲造博士命日祭記念対談

日時 平成 27 年 10 月 15 日(木)15 時 30 分～

場所 盛岡グランドホテル (盛岡市愛宕下 1-10 TEL019-625-2111)

座談会 「新渡戸記念中野総合病院への道のり」

入江 徹也氏 新渡戸記念中野総合病院副院長

(聞き手:藤井茂新渡戸基金常務理事)

※入場無料

【講師紹介】



昭和 52 年 3 月、東京医科歯科大学医学部を卒業後、5 月同大学医学部第 2 内科学教室に入局。10 月から翌年 3 月末までの 6 か月間、中野総合病院内科で臨床研修を行う。昭和 56 年 1 月から 2 年間、米国 California 大学の Davis 校病理学教室 Martines VA Medical Center に留学する。

平成 3 年 7 月 1 日、再び中野総合病院に赴任。平成 16 年 9 月より消化器内科部長。平成 25 年 8 月 1 日副院長に就任し、現在に至る。

中野総合病院が地域の人たちに信頼される病院となることが出来るように診療の体制をより充実させ、また地域の医療機関の先生方からのご依頼にいつでも応えられるような体制作りを目指す。

同病院は創立時の精神に立ち帰るため、今年 10 月 1 日より「新渡戸記念中野総合病院」へ改称するが、その名称変更のために尽力されたのが入江徹也副院長である。

【中野総合病院について】

正式には東京医療生活協同組合中野総合病院といい、日本初の医療利用組合である。その創立には新渡戸稲造や賀川豊彦らが尽力し、「貧しい人へも医療を」という願いが込められている。貧しく医療が受けられない一般国民の医療費の負担を軽減するために医療利用組合が設立され、皆が安心して医療を受けられるような現在の国民皆保険制度につながった。

主 催：新渡戸稲造博士命日祭実行委員会 会長 内川 颯一郎

新渡戸稲造会／(一財)新渡戸基金／新渡戸基金維持会／北東北・日本アメリカ協会／岩手台湾懇話会